

平成 29 年度 栃木県浙江省友好交流員レポート(9月)

はじめに

平成 29 年度栃木県浙江省友好交流員として、今回浙江省杭州市に派遣された加治屋樹(かじやたつき)です。以後、今回を含む計 6 回に及ぶレポートを毎月報告させていただきます。内容としては、私の中国での日常生活の様子や、浙江省内を観光したことなどが主な内容となります。

浙江大学

まずは私を含め栃木県、福井県、静岡県三県の友好交流員の生活している場所について紹介したいと思います。

今年創立 120 周年を迎え留学生 1800 人以上を迎え入れた浙江大学が私たち交流員の生活の中心となります。そして 5 つある浙江大学のキャンパスの中でも玉泉区というキャンパスにある宿舎が私たちの生活の場となります。

9 月下旬現在では、中国語の授業が始まり、学生としての生活が始まっています。今年のクラスは 6 班まであり、数字が大きくなるほど上のクラスになります。3 班以上は全ての授業がほとんど中国語のみとなります。そして 1 班 2 班は授業中の公用語が英語になり、ある程度の英語の理解度も求められます。

他国の学生同士の会話などは主に中国語、又は英語が主流となり、まだ拙い中国語だけを話す私にはクラスメイトとの交流を深めるにはなかなかハードルが高いものでした。

そんな環境にも徐々にではありますが慣れ、クラスメイトともコミュニケーションが少しずつ取れるようになってきました。話が少しでも分かるようになると外国の留学生はとても優しく気さくに話し掛けてきてくれます。

しかし、交流員としては事前に中国語や英語などある程度の外国語への慣れ、理解が必要だと思いました。



西湖散策

日本から中国に来た翌日早速西湖まで足を延ばしてみることになりました。同じ交流員で福井県から来ている方と一緒に西湖まで徒歩で向かってみました。宿舎がある浙江大学玉泉キャンパスからはなかなか遠くて、たどり着くまでにかかりました。来たばかりで正確な地図もなく、また地理を把握していないため、通行人の方に道を尋ねながらの道中となりました。

悪戦苦闘しながらも西湖に到着して散策を開始しました。とにかく西湖は大きく、その日だけで1周するには時間が足りず、その日は回れるところだけの西湖散策になりました。さすが中国国内人気観光スポット、平日にも関わらず大勢の観光客で西湖はにぎわっていました。遊覧船が湖の中を進んでいたり、一面蓮で埋め尽くされているような場所もあったりと、西湖にはとても大きく美しい景色が広がっていました。

また天気、時間帯によっても西湖の見える景色は魅力的になると、私たちをお世話してくれている浙江省外事僑務弁公室の方にお話を伺ったのでまた日を改めて西湖散策をしようと思います。



中国での食生活

前任の交流員の方から、浙江省での食生活は日本人の舌に合うと伺ってはいたものの、実際はどのような味なのか正直怖いものがありました。合わなかった場合は、半年間食事での苦勞が絶えないこととなります。そして実際に食べてみて、料理は全体的に脂が少し多いように感じましたが、味付け自体は私の好みのものでした。私は幼少期台湾で過ごしていた経験もあってか料理の味付けはむしろとても美味しく感じました。

そして、私が1番気になっていたのは浙江省で牛肉麵が食べられるかどうかということでした。私が台湾に住んでいたころは日常的に食べていた物です。日本ではなかなか見かけなかったのですが、台湾では一般的な料理の1つで私の好物でもあります。町には牛肉麵の看板がちらほらあり、浙江省で食べられると期待が膨らむばかりでした。しかし、杭州市に来て中国の牛肉麵を食べてみてわかったのですが、こちらの一般的な味は台湾のものと違うもので、同じ牛肉麵という名前でしたが全く違う食べ物でした。そんな中台湾牛肉麵という肩書の牛肉麵のお店を発見して1人で喜んでいました。そして実際に食べてみて台湾で食べていたものとそっくりの味でした。とても美味しかった…。

ほかにも最近中国で流行っている焼き小籠包や他省の料理など色々と探しては食べてみました。味はどれも美味しく、こちらでの食生活は問題なく過ごしていけると確信するものでした。久々に台湾の味にも触れられて杭州市での食事をとても満喫しています。



また杭州市には西湖以外にも西溪湿地公園など観光スポットが数多くあり、来月にもまた西湖を含め多くの場所を回れたらと思います。以上が今回のレポートとなります。

浙江省友好交流員
加治屋 樹